



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
 - 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
 - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーの弱で締め付けてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 - 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
 - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
 - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 - 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、すき間をつくり、かい木を入れてください。
 - 上枠とまぐさのすき間には、必ずかい木を入れてください。
 - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。

■部品・部材の明細

| ドア本体 | ツバ付4方枠 | ツバなし4方枠 | ケーシングセット(ケーシングタイプのみ) |
|-----------------|---|---|------------------------------|
| | | | |
| ハンドルセット 錠セット | ●縦枠(2本) ●上枠 ●上枠用戸当たり ●ツバ材(2本) ●ツバ付薄沓すり ●縦枠用戸当たり(2本) ●部品セット ●取付け説明書 | ●縦枠(2本) ●上枠用戸当たり ●ツバなし薄沓すり ●部品セット ●取付け説明書 ●縦枠用戸当たり(2本) | ●上用ケーシング(2本) ●縦用ケーシング(4本) |

■枠セット明細

| | ツバ付4方枠 | ツバなし4方枠 |
|------|--------|---------|
| 縦枠 | 2 | 2 |
| 上枠 | 1 | 1 |
| 戸当たり | 縦2・上1 | 縦2・上1 |
| 薄沓すり | 1 | 1 |
| ツバ材 | - | 2 |

■ケーシングセット明細

| | |
|---------|---|
| 上用ケーシング | 2 |
| 縦用ケーシング | 4 |

■ハンドルセット明細

| | |
|----------|----|
| ハンドルセット | 1組 |
| 台座セット | 1組 |
| ハンドル固定ねじ | 1本 |

■錠セット明細

| | |
|-------|----|
| 錠座セット | 1組 |
|-------|----|

■ 部品セット 標準ドア・トイレドア用(枠用部品セット)

| | | |
|---|--|--|
| 下ピボット  | 皿タッピンねじ φ4×16  | 皿小ねじ M4×50  |
| 1 | 2 (下ピボット取付用) | (枠組立て用) |
| トラスタッピンねじ φ4×25  | ナベタッピンねじ φ4×40  | DNビス(皿木ねじ) φ3.8×50  |
| (ツバ付薄沓すり取付用) | (縦枠駆体取付用) | (上枠駆体取付用) |
| 4 | 6 | ※7 |
| スパナ  | ※予備用4本含む。 | |
| 1 | | |

■ 開口部の確認

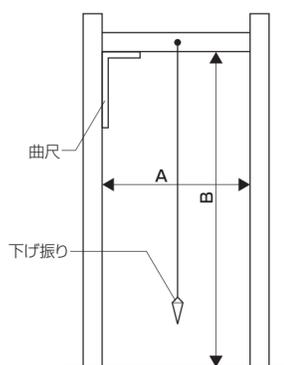
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

| | |
|-------|-------------------|
| 開口寸法A | 製品寸法 W + 5mm |
| 開口寸法B | 製品寸法 H + 床厚 + 5mm |

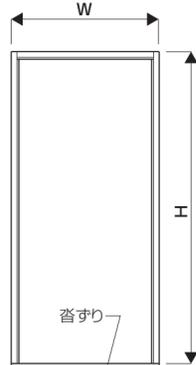
■ 取付け範囲(単位:mm)

| 対象壁厚 | ケーシングタイプ | | 木造用ノンケーシングタイプ | | |
|------|-----------|-----------|---------------|-----------|-----------|
| | 薄壁用 | 厚壁用 | NC156 | NC171 | NC180 |
| | 111 ~ 141 | 142 ~ 182 | 116 ~ 130 | 131 ~ 145 | 146 ~ 160 |

● 開口寸法



● 製品寸法

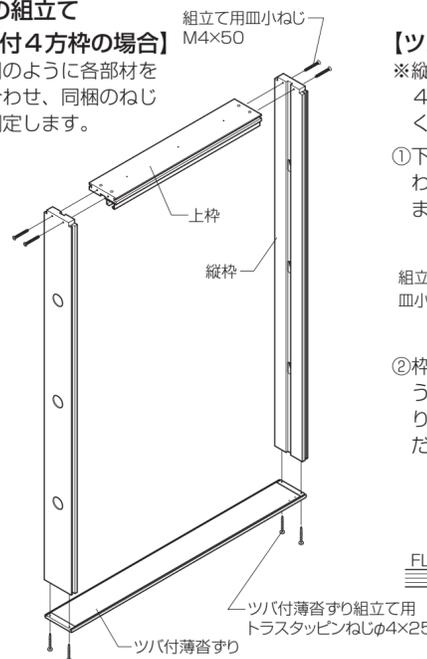


■ 取付け手順

1 枠の組立て

【ツバ付4方枠の場合】

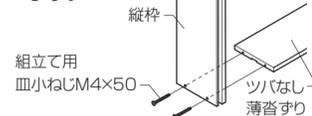
①下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



【ツバなし4方枠の場合】

※縦枠と上枠の組立ては、ツバ付4方枠の場合の記載を確認してください。

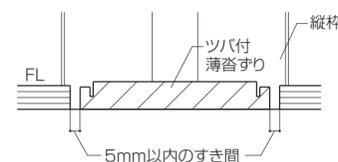
①下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



②枠の取り付け後、下図のように縦枠・ツバなし薄沓すりにそって床材を張ってください。



②枠の取り付け後、下図のように床材を張ってください。

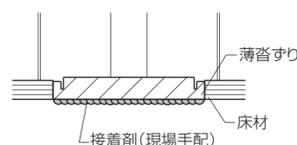


※床材とツバ付薄沓すりのすき間は5mm以内にして下さい。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

■ 躯体への取付け方

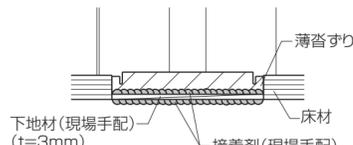
● 床材厚さ12mm

※必ず薄沓すりに接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



● 床材厚さ15mm

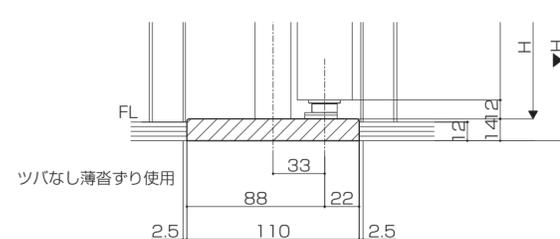
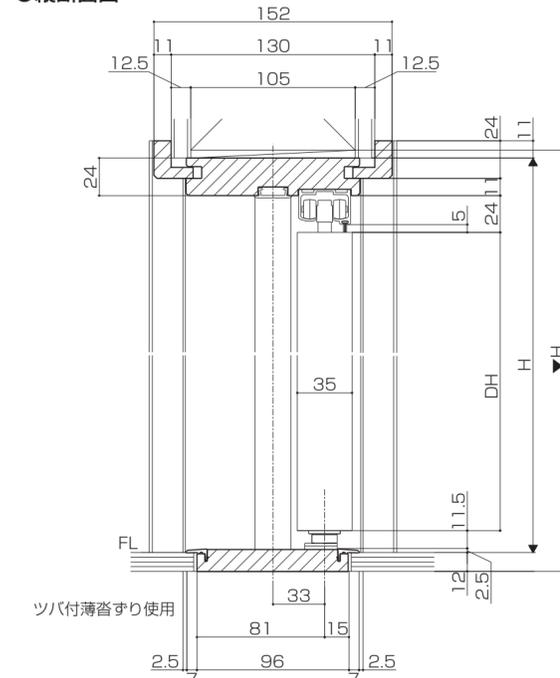
※必ず薄沓すりと下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



■ 納まり図

■ 中折れドアユニット ケーシング付

● 縦断面図



| | 呼称 | a寸法 | b寸法 | 出寸法c |
|-------|-----|-----|-------|-------|
| 標準ドア | W07 | 484 | 238.5 | 250.5 |
| トイレドア | W06 | 393 | 197.5 | 200.5 |

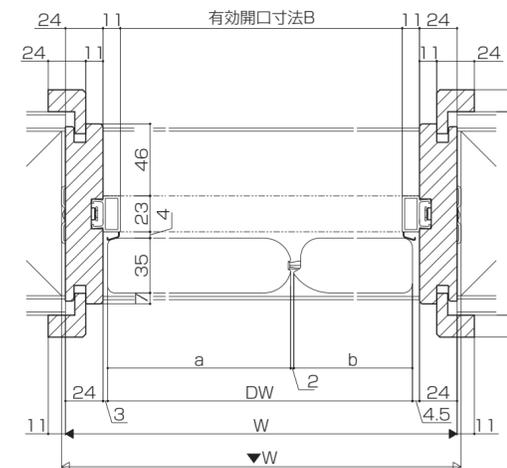
■ 中折れ 標準ドア

| W呼称(枠外寸法) | A寸法 | B寸法 |
|-----------|-------|-----|
| W07(780) | 631.5 | 710 |

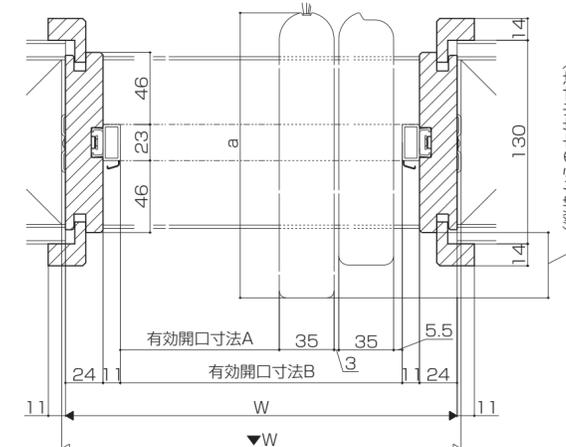
■ 中折れ トイレドア

| W呼称(枠外寸法) | A寸法 | B寸法 |
|-----------|-------|-----|
| W06(648) | 499.5 | 578 |

● 横断面図(閉)



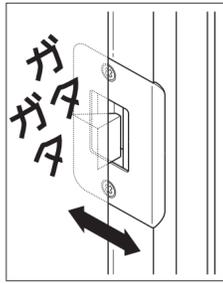
● 横断面図(開)



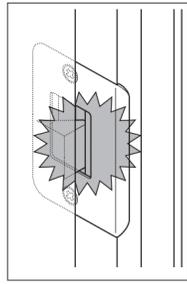
■建付け調整(ストライクによる調整)

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

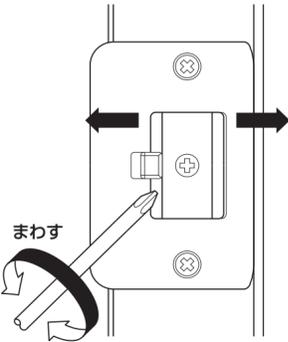
■ラッチがストライクの中でガタつく



■ラッチがかからない



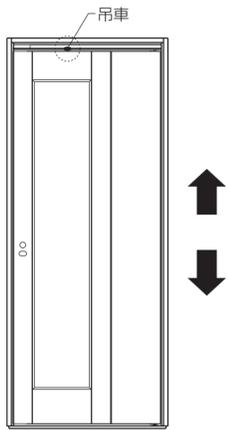
ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm



■建付け調整 (吊車およびピボットによる調整)

上下調整

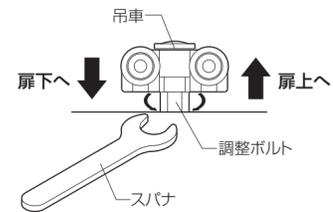
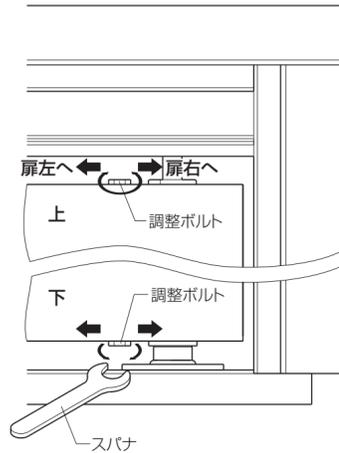
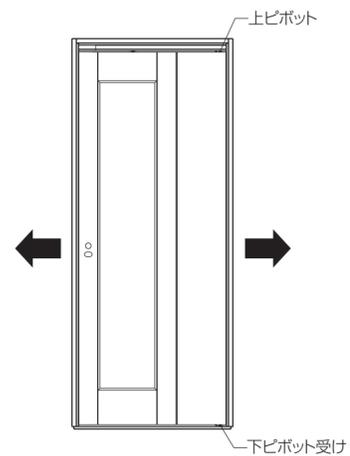
- 吊車で調整します。調整幅は±3mmです。
- 付属のスパナで時計回りに回すと扉があがり、反時計回りで扉が下がります。



左右調整

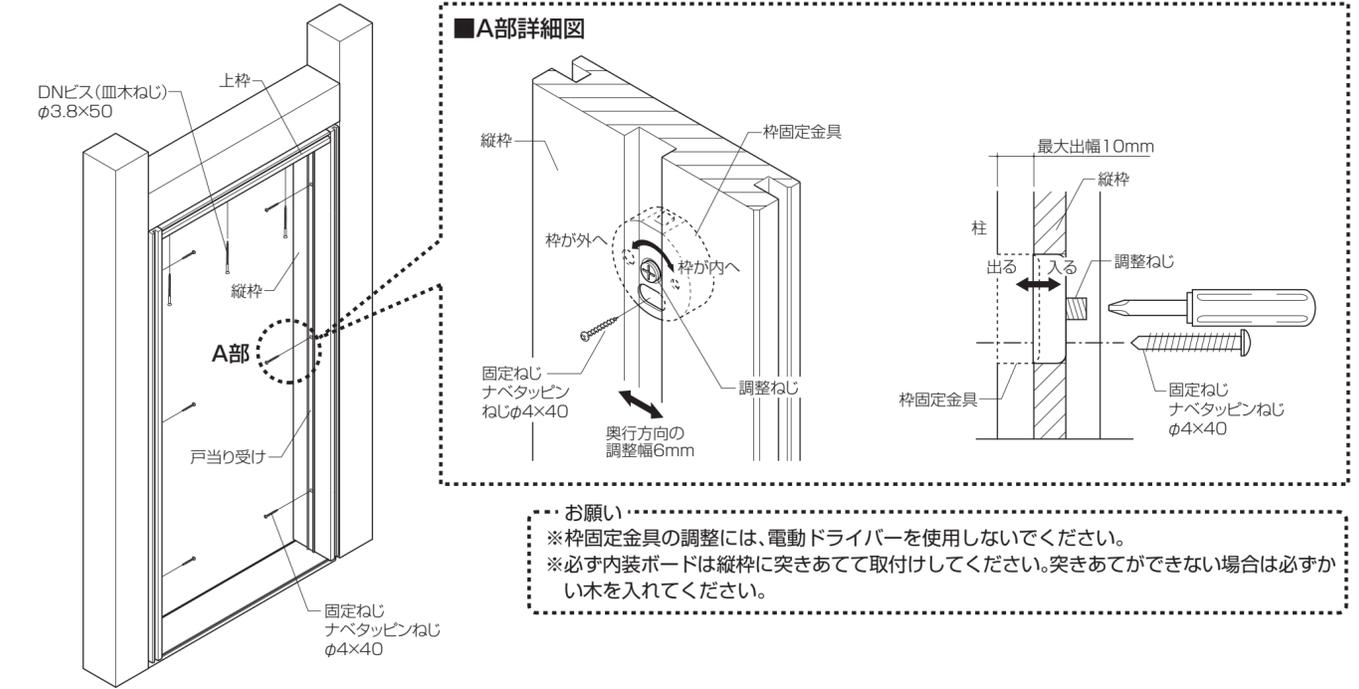
- 上・下ピボットで調整します。調整幅は±2.5mmです。
- 付属のスパナで上下ピボットの調整ボルトを回して調整します。

| | | |
|-------|-------|-------|
| | 扉を左へ | 扉を右へ |
| 上ピボット | 時計回り | 反時計回り |
| 下ピボット | 反時計回り | 時計回り |



2 枠の取付け

- ①縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
 - ②枠の垂直を確認してください。
 - ③固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
 - ④枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
 - ⑤枠の垂直を確認してから、開口寸法(W方向)を確認してください。開口寸法が大きい場合は調整ねじを時計回りに回し、小さい場合は反時計回りに回して枠を調整してください。(左右の調整範囲は片側で10mmです。)
 - ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
 - ⑦上枠はかい木を入れてDNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。
- ※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用DNビス(皿木ねじφ3.8×50)で固定してください。



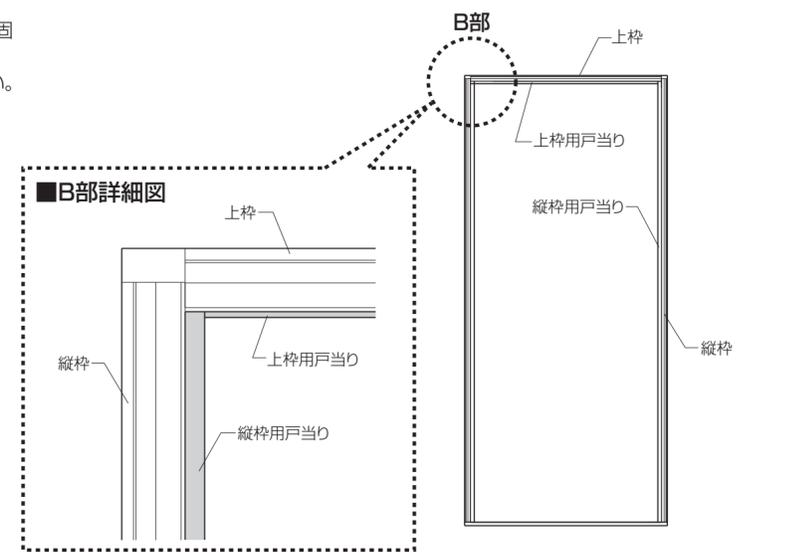
お願い
※枠固定金具の調整には、電動ドライバーを使用しないでください。
※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて取付けてください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

3 戸当りの取付け

- ①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
 - ②戸当りの足の外側(リップのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください(塗布面は下図参照)。
- 接着剤(現場手配)がはみ出した場合は、必ずふきとってください。
※縦枠用→上枠用の順に取付けてください。

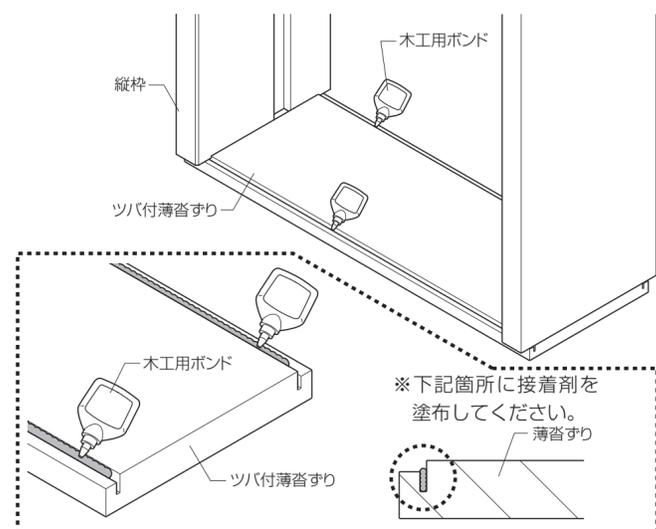
お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

| | |
|--------|--------|
| | 接着剤塗布面 |
| 上戸用戸当り | |
| | 塗布面 |
| 縦枠用戸当り | |
| | 塗布面 |



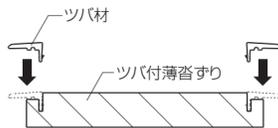
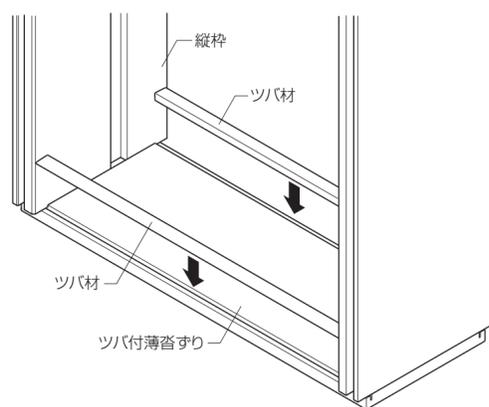
4 ツバ材の取付け(ツバ付薄沓すりを使用する場合のみ)

- ①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄沓すりの溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間無く塗布してください。



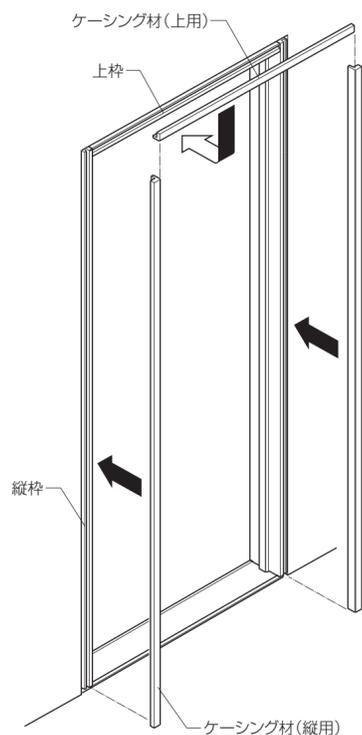
- ③ツバ材を溝に手ではめこんでください。

お願い
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。



5 ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

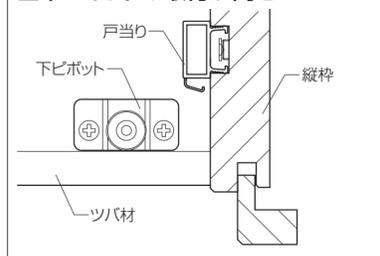
- ※壁材・床材を仕上げてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。(上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。)
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



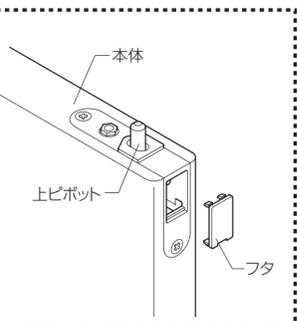
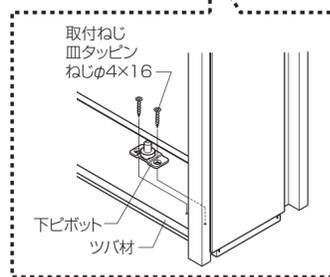
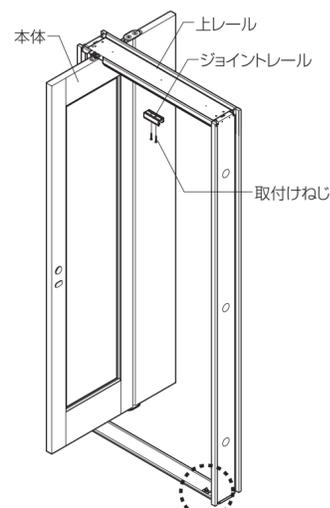
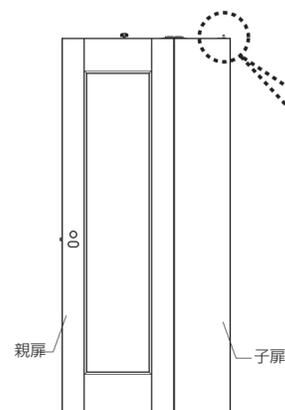
6 本体の吊込み

- ①薄沓すりに下ピボットを固定します。
※ツバ付 4 方枠の場合には下ピボットは向きに注意して取付けてください。(下図参照)

■下ピボットの取付け向き



- ②上ピボットのフタを、マイナスドライバーなどではずしてください。
- ③ジョイントレールを固定しているねじをゆるめて、ジョイントレールを外してください。(取外したねじは再度使用しますので、なくさないように注意してください。)



- ④本体を開いた状態で上枠と 90°にしてレールの端部より、本体を吊込みます。(吊車をレールと平行にしておいてください。)
- ⑤吊元側の縦枠から吊車が 300mm 位にきた所で、子扉を折りはじめて扉を斜めに持ち上げながら下部ピボットに本体の受けに入れ込んでください。(子扉は完全に折りきらないようにしてください。)
- ⑥上ピボット内のつまみを下げてください。(軸も下がります。)レール内のピボット受けに軸を入れてください。
- ⑦ジョイントレールを固定して、上ピボットのフタをはめ込んでください。

